

# 川崎町の資源をいかす会 事務局だより

NPO法人 川崎町の資源をいかす会

第51号 (令和3年 6月発行 不定期)

## 第15回 通常総会（書面議決）について報告

新型コロナウイルスの影響に伴う緊急事態の発出により、昨年に続き今年もいつもとは違って窮屈な生活を強いられていることと思います。本来であれば通常総会では、会員が一堂に会し、審議していただくべきところですが、川崎町でも立て続けにコロナの感染者が発生したため、今期も書面議決による総会としました。

書面議決の結果は、5月23日（日）の第2回理事会において確認しましたのでご報告いたします。

### 令和3年度 第2回理事会議事内容

1 日 時：5月23日（日）午前10時～11時30分

2 場 所：川崎町公民館 講座室

3 出席者：理事9名 委任状7名 監事1名

4 議長：齋藤勝廣理事長

5 議事録署名人 菊地重雄理事・追木今朝善理事

6 第15回通常総会書面議決における表決書（委任状含む）の集計結果の確認

令和3年3月31日現在の会員数146名、委任状の総数93名、定款27条に定める定足数＝総会員数の1/3以上（＝49名以上）。よって、書面による総会は成立したことを確認

監査報告：令和3年4月26日に行われた監査結果について、鹿野記市監事より、適正に処理されていることを確認した旨報告があった。

表決書は、第1号、第2号議案に賛成とするもの93名、反対とするもの0名。

よって、第1号議案、第2号議案とも提案通り承認議決されたものと確認した。

総会資料において、活動日程が未確定であった各活動について、それぞれの担当理事から下記の通り提案があり、了承された。

- ・ 田んぼで遊ぼう会（田植え） 5月29日（土）
- ・ 釜房ダム桜並木のツル切り 8月1・8日（日）の2回
- ・ 梅採り体験及びブルーベリー摘み取り体験会 6月26（土）or 7月3日（土）予定
- ・ 水源地探訪と夏を食う会 10月17日（日）
- ・ 第1回 水車による粉挽きとそば打ち体験 9月26日（土）
- ・ 田んぼで遊ぼう会（稲刈り） 10月30日（土）
- ・ 広葉樹林の作業体験事業 11月14日（日）
- ・ 第2回 水車による粉挽きとそば打ち体験 11月7日（土）
- ・ 原木キノコの植菌体験事業 シイタケ 12月4日（土）
- ・ 第3回 水車による粉挽きとそば打ち体験 1月16日（土）
- ・ 原木キノコの植菌体験事業 ナメコ・ヒラタケ 2月5日（土）

詳細についての案内を郵送で希望の方は事前に事務局まで申し出てください。

## 川崎－仙台薪ストーブの会の活動について

「定例会」は毎月第2日曜日（8月及び1月は休み）に腹帯集落センターで実施しています。

参加する方は事前に必ず事務局まで連絡し、作業のしやすい服装で、昼食・飲み物等を持参してください。

定例行事等に変更がある場合は事前連絡者のみにお知らせします。

「活動日」は、直接現地に午前9時30分までに集合してください。なお、作業の報告等は代表者が提出してください。また、作業内容はあくまでも予定なので変更になる場合があります。作業内容は当日担当者が説明します。いかす会の活動はすべて自己責任で行うこととしています。「NPO法人川崎町の資源をいかす会」として事故等について一切責任を負うことは出来ません。怪我などには十分に注意して活動してください。

なお、青根リゾート管理事務所には次表の日程で届け出をしてありますので、この日程以外で出入りする場合は変更届が必要です。私有地ですので勝手に入らないようにお願いします。

令和3年度 「川崎－仙台薪ストーブの会」年間予定表

		定例会		活動日		
月	日	活動内容	集合場所・活動場所	水曜日	土曜日	作業内容
6月	13(日)	懇談会	腹帯集落センター	4月から9月までは活動を休止します。 ただし、ドングリの森の要請によって入山することがある場合、別途ランバージャックで案内します。また、白炭窯のある杉林や他の場所での活動を臨時で行う場合もメールで案内します。		
7月	11(日)	懇談会	腹帯集落センター			
8月		活動休止				
9月	12(日)	後期計画の具体化	腹帯集落センター 現地			
10月	10(日)	入山・B作業	腹帯集落センター 現地	6(水) 27(水)	16(土)	薪棚の製作・整備 伐倒・玉伐り
11月	14(日)	入山・伐倒・玉伐り ・搬出・薪割り イベント予定	腹帯集落センター 現地	3(水) 22(水)	20(土)	伐倒・玉伐り他 伐倒
12月	12(日)	入山・伐倒・玉伐り ・搬出・薪割り	腹帯集落センター 現地	1(水) 22(水)	18(土)	伐倒
1月		活動休止		5(水) 26(水)	15(土)	伐倒
2月	13(日)	入山・伐倒・玉伐り ・搬出・薪割り	腹帯集落センター 現地	2(水) 23(水)	19(土)	伐倒
3月	13(日)	入山・伐倒・玉伐り ・搬出・薪割り	腹帯集落センター 現地	2(水) 23(水)	19(土)	伐倒 玉伐り・搬出

## 令和3年度 水車で粉ひき・蕎麦打ち体験のご案内

昨年度はコロナの影響で実施できませんでしたが、今年度は様子を見ながら実施したいと思っています。

今年も3回実施しますが、自分で蕎麦打ちができるようになることを目指す方は3回とも参加されることをお勧めします。

自分で打った蕎麦は格別です。蕎麦打ちを体験しませんか!!

●第1回 9月26日(土)

●第2回 11月7日(土)

●第3回 1月16日(土)

対象者 蕎麦打ちできるようになりたい方。体験してみたい方。

時間 午前8時半～午後3時頃

集合場所 川崎町前川字北原 ぱびハウス駐車場

参加費 2,000円(持ち帰り5食分の蕎麦を打ってもらいます。試食もします)

募集人員 各回10名(道具と材料は用意します)

時間割 午前8時半集合 水車による粉挽きの見学と体験

午前9時頃から 匠の指導により各自蕎麦打ちを实践

午前12時頃から 挽きたて・打ちたて・茹でたての蕎麦をご賞味いただきます。

午後2時頃から 後片付けと掃除(掃除までが蕎麦打ちの大切な工程です)

準備する物 エプロン・ヘアキャップ(手拭い可)・マスク・蕎麦持ち帰り用空き箱

※爪は短く(マニキュアは不可です)

申込期限:各回の1週間前まで、但し期限内でも定員に達した場合は締め切ります。



## 令和3年度 釜房ダム桜並木のツル切・下草刈りについて

毎年、6月下旬から7月上旬に実施していた釜房湖周辺道路の清掃活動については、新型コロナウイルスの関係で中止とし、密にならない桜並木のツル切と下草刈りを実施します。刈払い機又は草刈り鎌を持参の上ご参加下さい。参加いただける方は事務局まで申し込んでください。

日時 8月1日(日)・8日(日) 午前9時30分から午後3時

集合場所 釜房大橋そばの駐車場(仙台方面から来たら、釜房大橋を渡らず直進すぐ)



## 令和3年度雁戸白炭の販売案内

令和3年2月の地震で白炭窯が壊れたため、製炭が予定よりだいぶ遅れてしまいましたが、3月上旬にいかす会の名人によりようやく修復が終わりました。新しい窯ながらそこそこの炭が焼けたと自負しております。会員または一般の方にもお分けしますので、ご希望の方は事務局までお申し出ください。バーベキューに最高です。定価は15kgで4,200円(旧キモチで購入の方は11キモチ)です。



焚き口側半分が崩壊



全部ばらして一から組上げ



いよいよ大詰め



火入れをして間詰の点検

## 農産部会からのお知らせ

### ●梅の実収穫体験

いよいよ梅雨の時期となりました。梅の実が熟すころの雨のため、そう呼ぶといえます。川崎町の梅も今月末あたりが採り頃です。そこで、梅の収穫（白加賀）を行いますので興味ある方は、参加してください。季節の移ろいを感じながら、和気あいあいと一緒に梅を収穫しましょう。

尚、果実ですので天候等の影響があります。実の熟れ具合を見計らって、開催日1週間前ころに確定日時をメール等で連絡いたします。

- 日 時 6月26日（土）or 7月3日（土）9：00～草刈り、梅採り 10：00～11：30 予定
- 場 所 前川小学校から青根方面へ向かう道路沿い右側の梅林（20本程度）に集合してください。
- 参加費 会員¥200、一般¥300（お茶代・おやつ付）
- 梅代金 収穫した梅は200円/kg（市場価格の1/3）でお分けします。収入は梅林維持管理費用に充当。
- 用 途 梅干し、梅ジュース、梅ジャム、梅酒等
- お願い 当日9：00頃より梅林の草刈りを行いますので お手伝いできる方は草刈り機持参でお願いします。（混合油は用意します）
- 希望者 希望量（〇〇kg）も併せてメールでお知らせ下さい。  
なお、取り置き希望者は「取り置き希望」と記入し、同じように連絡してください。
- 連 絡 メール：[oomura.masami@mou.ne.jp](mailto:oomura.masami@mou.ne.jp) or 携帯：090-5848-7417（大村）



### ●ブルーベリー摘み取り収穫体験

今年は花実が結実前に、5月の遅霜、強風のため例年の半分程度しか結実していない状況ですが、出来た分だけでも摘み取りしましょう。ご興味ある方は参加してください。

- 日 時： 6月26日（土）or 7月3日（土）13：30～15：00 予定
- 場 所： 川崎町前川山長 「悠々ファーム」
- 販 売： 300円/200g（市場価格の半額以下）
- 申し込み：メール：[oomura.masami@mou.ne.jp](mailto:oomura.masami@mou.ne.jp) or 携帯 090-5848-7417（大村）



★梅収穫・ブルーベリー摘み取り両方に参加される方はおにぎりなど持参してください。  
汁物・サラダ（自家製）はこちらで用意いたします。

## 川崎町での里山暮らし Part2



我が家の周りの道を自転車で走ると、収穫期を迎えた麦が茶色に染まり、植え付けを終えた水田の緑との対比が美しい。麦秋の季節である。田植えが終わった田園地帯はいま、日に日に緑の色彩を濃くしている。ひ弱だった早苗も水と土の恵みを受けてぐんぐんと伸びている。1週間ほど前、サイクリング散歩中に麦畑近くでヒバリの巣を見つけた。おわんのようなわらの寝床に、小さな卵が三つ。なぜか樹上ではなく地面に巣を作り、外敵から卵を守れるように麦畑や草地の中を選ぶのだという。ヘリコプターのホバリングのように空中で長くとまったままさえずるのは縄張りであることを主張し、パートナーを迎えるためだそうだ。麦刈りの頃には

ひなが巣立つ。きちんと時期を見計らって営巣をする利口さに感心する。国内の麦栽培は、パンやめん類になる小麦が中心。ビールや麦茶、麦ごはんに使われる大麦、みそなどに加工されるはだか麦も作られている。今は残念ながら大半は輸入だが、消費量自体はコメと肩を並べているらしい。コメ消費が減ってきたことが大きい原因らしい。麦わら帽子、ストローなど、食以外の活用も広がってほしいと思う。梅雨入りが近づき、まもなく各地で麦刈りが本格化すると同時に夏が近くなってきたことを感じる。そして、梅雨この時期になると、田んぼから盛んに聞こえてくるのがカエルの声である。「ゲコゲコ」と、にぎやかな“合唱”だが、実は微妙にずれ

ているという。周りにいるカエルとタイミングをずらして鳴くことで、自分の声がかき消されないようにしているらしい。鳴くのは主に雄で、自分の縄張りを主張したり、雌に求愛したりするためとされる。合唱というよりは“のど自慢”と呼んだ方が似合っているかもしれない。野鳥やカエルの歌声は、生命力に満ちた自然の音楽のようで、身近な生き物たちの元気な“ライブ演奏”が季節の移ろいを教えてくれる。雨の中でカエルとの共演の音楽もなかなかにぎやかである。「豊かな日本文化の音」と思えば楽しいものではないかと思っている。今日も里山の生き物の神秘的な営み・自給自足の楽しさを味わいながら暮らしている。



# どんぐりの森自然観察会報告

- 日 時 2021年5月8日(土)
- 集合時間 午前9時30分～12時
- 集合場所 腹帯集落センター
- 参加費 会員300円, 一般500円
- 参加人員 約22名
- 主催 NPO法人 どんぐりの森
- 共催 NPO法人 川崎町の資源をいかす会

どんぐりの森は青根地区の手代塚山にある広大な自然林で、野生動物の成育が確認されています。そこには40年から60年にもなるコナラ・ミズナラ等の広葉樹が多く成育していました。

コナラ林は高齢化して大木になると、そこに甲虫カシノナガキクイムシが飛来して繁殖し、その媒介によって病原菌がナラ枯れを起こします。この森もその例外ではありませんでした。

ナラ枯れが広がればどんぐりが少なくなり、野生動物の食料も無くなります。

そこで、3年前から皆伐萌芽更新を実施したところ、これまで鬱蒼としていた雑木林に日が当たり、林床には山野草が芽吹き始めました。それに伴い昆虫や小動物が成育するようになりました。また、初年度に伐られた木の切り株では、新しく萌芽が始まっています。

皆伐萌芽更新は、地球環境問題の一つである生物多様性の保全に貢献することになります。5月8日の観察会では、会員や一般の方々と一緒にハイキングをし、山野草を楽しみながら森の自然の大切さを知ることができました。



ナラ枯れの進行するどんぐりの森  
中央は、皆伐により芽吹き始めた山野草



どんぐりの森を背景に 全員集合！



どんぐりの森に自生する「シロヤシオつつじ」

頂上の手代塚山(標高570m:GPS時計計測)を目指し、樹木や山野草の名前を案内人のレクチャーを受けながら、全員で気持ちよい汗をかいて緑の風と光を浴びて楽しく散策することができました。頂上では山ツジ(オレンジ色)やヤシオツツジ(白色)が咲き誇っていました。

## (事務局より) 川崎-仙台薪ストーブの会の皆様へ お願い

今年度は、木下しを安全に作業するための機材 hanako300 (<https://www.morinokikai.com/products/>) を購入することで助成金の申請をしました。自己資金も必要です。不足分は皆様からのご寄付で賄う必要があります。すでに会費と一緒に送金いただいた方もおられますが、まだ予定額に達していません。

旧キモチをお持ちの方は、キモチでの寄付も歓迎しますのでよろしく願いいたします。